

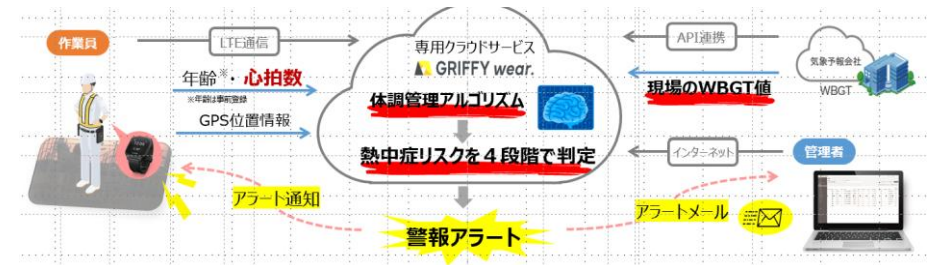
33. リストバンド型機器で個別熱中症リスク管理

業 者 名 株式会社GRIFFY

本社所在地 東京都

【取組概要】

建設現場での熱中症発症リスク低減を目指し、体調管理システム「GenVital LTE」を開発した。①リストバンド型機器から収集した心拍数、②作業員の年齢、③現場のWBGT値をもとに熱中症リスク指標を算出し、閾値を超えた場合は、管理者および着用者に即時に警報アラートを通知する。加えて、クラウドサービス上で作業員の一括管理、位置情報のマップ表示が可能であり、作業員の安全性向上および確認作業の省力化を実現した。



- GPS搭載のリストバンド型機器を採用し、クラウドサービス上で位置情報をリアルタイムに確認可能としたことで、熱中症リスクが高まった着用者の所在の即座の把握を可能にした。建設現場における熱中症リスクの早期検知と迅速な対応を可能にし、作業員の安全性向上に有効な技術である。
- 株式会社大林組が特許を取得している体調管理アルゴリズムを専用クラウドサービスに組込んで算出した熱中症リスク指標を用いて判定を行うため、気温や体温等ではなくWBGT値と心拍数に基づくアルゴリズムでの判定を実現し、アラートの頻発を抑制できる点が特徴である。
- クラウドサービスによる複数現場の統合管理は、担い手不足や高齢化といった建設業界の課題に対し、DXによる安全性向上と業務管理の効率化に貢献するため、多くの建設現場での普及が見込まれる。加えて、転倒時の衝撃検知や作業員からのSOS通知などの新機能を搭載済みであり、利用シーンの拡大にも取り組んでいる。